

「みんなでつくる燕市」の理念のもと

稼ぐ燕市・育てる燕市・燕はひとつ

を重点に、新たなまちづくりに取り組みます。

3月4日、市議会定例会で市長が施政方針演説を行いました。その中から、当初予算額や重点施策などポイントを絞ってお知らせします。



令和8年第一回燕市議会定例会の開会にあたり、新年度に臨む私の市政運営の基本方針及び主要事業について申し上げます。議員の皆さま並びに市民の皆さまのご理解とご協力を賜りたく存じます。

燕市は、平成18年に「新燕市」として歩み始めてから、今月で20年を迎えます。この記念すべき節目にあたり、市民の皆さま、企業・団体の皆さま、また歴代の市政を担ってこられた方々に深い敬意と感謝を申し上げます。

さて、燕市は、鈴木力前市長のもと、全国に先駆けて3つの人口戦略に積極的に取り組んできた結果、転入超過の年も見られるようになるなど、人口減少を抑える成果を上げてきました。しかし、出生数は最新値で年間387人にまで減少しており、人口減少率が県内20市中、低

い方から2番目を維持してはいるものの、引き続き、出生数の減少を抑制し、人口の減り幅をできるだけ緩やかにしていく対策に取り組む必要があります。同時に、人口減少の現実を前提として、いかに本市の課題に適切に対応し、持続可能なまちづくりを進めていくのが、今後の市政運営において重要となってきます。

本市を支える産業界に目を向けますと、市内の事業所では、「コロナ禍からの回復基調が一部には見られるものの、受注数の減少やコストの上昇に加え、人手不足や後継者問題といった構造的な課題が重なり、製造業を取り巻く環境は、依然厳しい状況にあります。

農業においても、生産コストの増加、従事者の高齢化に伴う担い手不足といった課題に加え、安定しない米価の影響を受け、経営は厳しい環境に置かれています。

教育の分野では、近年、不登校となることもや特別な配慮・支援を必要とする子どもが増加する傾向にあり、保護者の負担軽減を図りながら、子どもたちが生き生きと成長できる教育環境を整えていくことが重要な責務であります。

一方、本市の財政は、社会経済環境の変化により多様化・複雑化する行政需要に的確かつ柔軟に対応することが求められる中、高齢化の進展に伴う社会保障費の増加や公共施設の老朽化への対応が歳出を拡大させる要因となっております。また、今般の物価高や人件費、金利の上昇



がさらなる歳出の押し上げ要因となり、財政運営は厳しさを増しています。

昨年12月定例会の所信表明で申し上げたとおり、こうした本市の課題に引き合い、厳しい現状を乗り越えるためには、立場や世代の垣根を超えて協力し合う『みんなでつくる燕市』という理念の共有が大切であり、この理念に基づき、私が市長として初めて取りまとめる令和8年度当初予算は、新たな燕市を切り拓く第一歩であると考えております。

その上で、令和8年度は、『日本一輝いているまち燕市』の実現に向け、人口減少に真正面から立ち向かい、立場や世代を超えて協力しながら、『稼ぐ燕市・育てる燕市・燕はひとつ』を重点に、新たなまちづくりへの変化の兆しが見える各種施策を展開することをポイントに編成いたしました。

施政方針の全文はこちら▶



燕市の 令和8年度 一般会計当初 予算

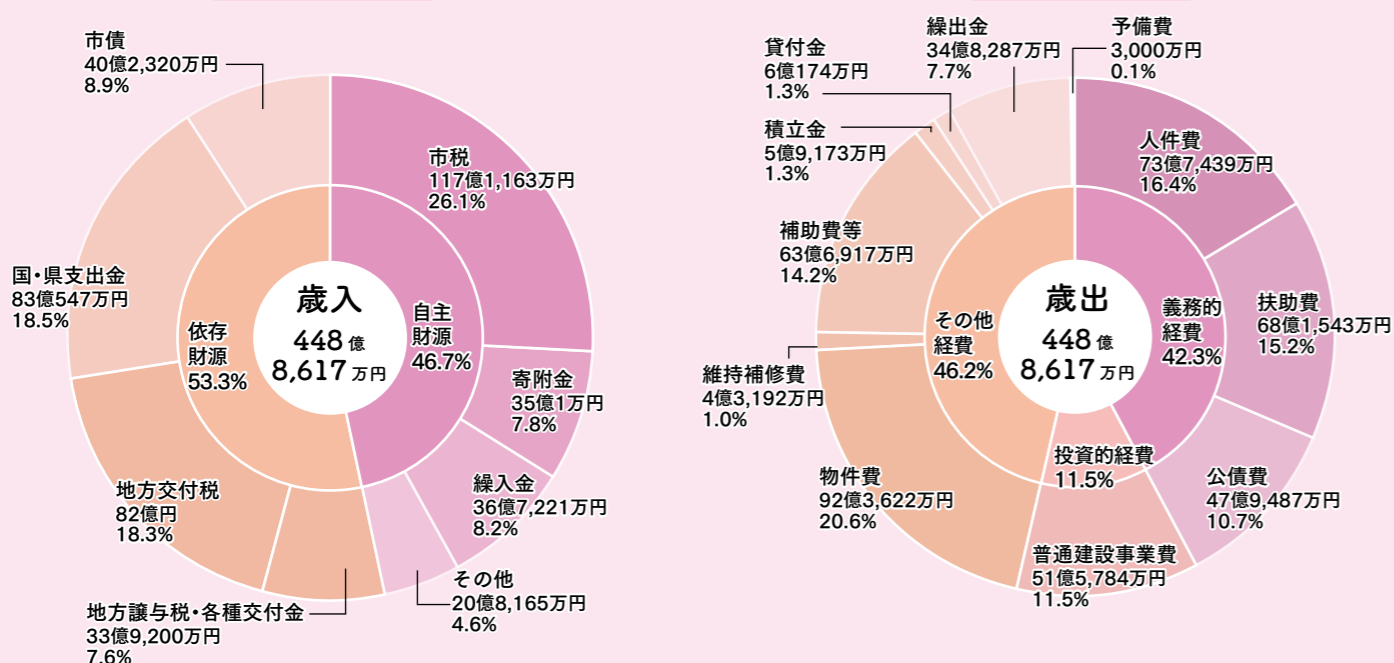
総額 483億5,700万円
実質的な
予算規模 448億8,617万円

令和8年度一般会計当初予算の総額は、サッカー場整備や保健センター改修などの建設事業のほか、長引く物価高への対策を含め、引き続き燕市総合計画の3つの人口戦略の体系に沿って各種施策を積極的に取り組むこととしたため、合併後最大であった令和7年度に次ぐ規模の総額483億5,700万円（前年度比9億600万円の減）となりました。なお、市債の借換分を除いた実質的な予算規模は448億8,617万円、令和7年度の国補正予算を活用した繰越事業を合わせた執行ベースの予算規模は、456億1,540万円となっています。

歳入の状況

実質的な予算規模

歳出の状況 (性質別分類)



用語説明

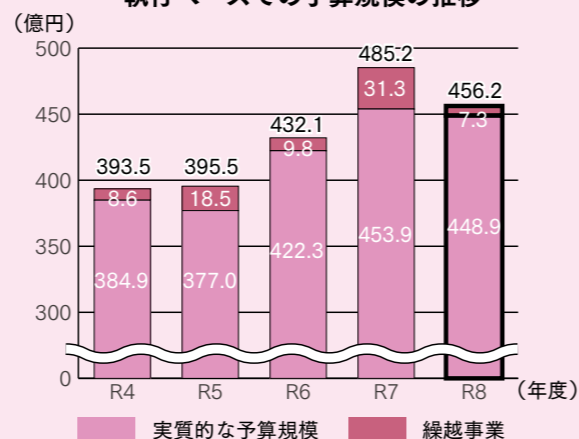
- 自主財源 … 市が自主的に収入できる財源
- 依存財源 … 国または県などから収入される財源
- 義務的経費 … 支出することが法令等で義務付けられている経費
- 投資的経費 … 道路や施設などの整備に要する経費
- 借換分 … すでに発行した市債を借り換えるもので、借入額と返済額を歳入歳出同額で予算計上

一般会計当初予算

区分	予算額	前年度比
一般会計	① 483億5,700万円	▲1.8%
①のうち借換分	② 34億7,083万円	▲10.4%
実質的な予算規模	①-② 448億8,617万円	▲1.1%
繰越事業	③ 7億2,923万円	▲76.7%
執行ベースの予算規模	①-②+③ 456億1,540万円	▲6.0%

端数調整のため合計額と一致しない場合があります。

執行ベースでの予算規模の推移



重点事業 ①- 2 育てる燕市

人づくりはまちづくりの基盤です。未来を担う子どもたち、その子どもたちを育てる保護者の皆さんを支える環境づくりを進めます。

保護者を支える取り組み

拡 学校給食費保護者負担の軽減
【予算額】 9,519 万円

令和8年度は小学生の保護者負担額をゼロとし、中学生の保護者負担額は物価高騰分を公費負担により据え置きます。



新 医療的ケア児等レスパイト（一時預かり）事業
【予算額】 437 万円

市内事業所と連携し、医療的ケア児や重症心身障がい児の一時預かり事業を実施し、家族の就労・休息をサポートします。

安心して子育てできる保育環境の整備

新 玄関ドアロック・防犯カメラ導入事業
【予算額】 2,280 万円

安全・安心な保育環境の整備に向け、不審者などから園児や職員を守る自衛的な対策として、公立保育園・こども園に玄関ドアロックシステムを導入するほか、防犯カメラを設置します。

新 私立園 ICT化推進補助事業
【予算額】 480 万円

私立保育園・こども園の業務効率化などを支援するため、システム導入・機器更新など現場の課題に合わせて活用できる ICT化補助制度を創設します。

学びを支える体制整備と燕らしい特色ある教育の推進

新 燕市不登校対策
～COCOLO“T”（燕版 COCOLO プラン）～
【予算額】 5,059 万円

全ての児童生徒が安心して学べる環境を整えるため、国の「COCOLO プラン」に沿った燕市独自の不登校対策を推進し、多様な学びの場の確保や相談体制の充実を図ります。

★校内教育支援センター
○小学校：全 14 校（週 5 日 3 時間）
○中学校：全 5 校（週 5 日 4 時間）

★校外教育支援センター
○市内 3 カ所すべて：週 5 日 6 時間

★先進地視察
新たに先進地事例を調査し、燕市独自の不登校支援に反映することで、より実効性の高い支援体制の構築を目指します。

拡 つばめ長善プロジェクト
【予算額】 4,726 万円（18 ページ掲載）

燕市独自の教育プログラムを拡充するほか、合併 20 周年に関連した取り組みの実施など、子どもたちが自分の良さを伸ばしたり、新たな可能性を広げたりすることを応援します。

★ Jack & Betty プロジェクト
英語によるコミュニケーション能力の向上を図るレッスンを行い、グローバル社会で活躍する人材を育成します。あわせて、スピーチコンテストの参加者の中から親善大使を選出し、オーストラリアへ派遣します。

★燕ジュニア検定
燕市の歴史や文化に関する検定を通じ、ふるさと燕への誇りと愛着を育みます。加えて、合併 20 周年に関する内容を拡充することで、地域への誇りと愛着を深めます。

★長善館学習塾
さまざまな体験活動や人との関わりから、自立心や助け合う心、問題解決能力を育みます。

★つばくろロボキッズ教室
自律動作型ロボットの操作を通じ、プログラミングへの関心や学び続ける意欲を高めます。

★広報つばめ「子ども版」発行事業
市内小学生が子ども記者として、燕市の魅力取材し、広報紙を制作する活動を通して、地域への愛着を育みます。

「COCOLO“T”」の T は
ツバメ ・ チーム ・ トクキザン の “T”
燕市独自の不登校支援の意味を込めました。

重点事業 ①- 1 稼ぐ燕市

「ものづくりのまち燕」を進化・発展させる取り組みを進めるとともに、製造業などにおける生産性・作業効率の向上を支援し、売上の最大化とコストの最小化を目指します。

「ものづくりのまち燕」を進化・発展させる取り組み

新 新産業創出事業（次世代産業育成支援事業）
【予算額】 71 万円

新たな産業の創出に向け、産業界と協働で機械加工などの技術学会に参加するとともに、新産業分野について調査研究を行います。



新 事業承継基礎調査事業（基盤技術人材育成支援事業）
【予算額】 138 万円

市内の製造業・卸売業を対象に、事業承継に関する調査を行い、サプライチェーンの維持・発展に効果的な支援の検討を進めます。

生産性向上・働きやすい職場づくりを支援する取り組み

新 DX 計画策定支援補助金（中小企業 DX 推進支援事業）
【予算額】 200 万円

企業の DX 導入への第一歩を後押しするため、DX 導入に向けたロードマップや計画策定などの費用を補助します。

新 工場等暑熱対策総合支援事業（働きやすい職場環境整備支援事業）
【予算額】 3,600 万円（24 ページ掲載）

従業員の作業効率および働きやすさの向上のため、従来の工場などにおける屋根や壁に施工する遮熱・断熱工事に加えて、地下水クーラーの導入や窓の遮熱工事を補助対象とします。

持続可能な農業経営を目指し、担い手確保や経営の安定化につながる新たな支援を展開します。また、事業者とともに産業観光を推進し、観光誘客の施策を強化することで経済効果を高めます。

持続可能な農業経営に向けた取り組み

拡 踏み出せ！ 農業！
スタートアップ事業
【予算額】 704 万円

新たな担い手候補に燕市の農業の魅力を知ってもらうため、地域おこし協力隊による情報発信や農作業等の体験受け入れ支援などを行います。



新 つばめ稼ぐ農業支援事業
【予算額】 3,100 万円

持続的な農業経営を目指し、既存補助事業をパッケージ化・拡充して作業効率化や販路拡大などを支援します。
○規模拡大支援
○省力化・低コスト化支援（ハード支援・ソフト支援）
○販路拡大支援 ほか

観光消費拡大に向けた取り組み

拡 燕ソウルフード
観光プロモーション事業
【予算額】 143 万円

魅力的なお土産品を増やすため、セミナーを拡充するとともに、お土産品の開発等に関する補助制度の創設などを行います。

拡 産業観光受入体制整備事業
【予算額】 255 万円

ものづくりを活かした観光誘客の促進を目指し、工場見学の受け入れ体制を整備する経費に対して上限額を拡充して補助します。

重点事業 ③ 生活を豊かにする新たな施設整備

子どもから年配の人まで、誰もがいきいきと体を動かし、生活を豊かにする新たな「運動の場」を整備します。

臨 B&G 海洋センター移転改築事業 【令和8年度予算額】8億6,840万円

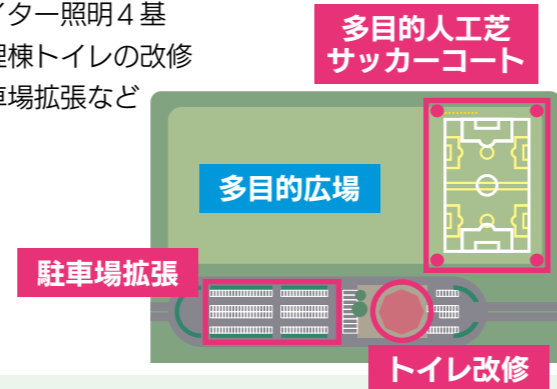
施設の老朽化対策や利用環境の改善により、市民の健康増進を図るほか、小学校のプール授業の受け皿として活用するため、隣接地に移転・改築を行います。オープン時には、著名なゲストを招いた水泳競技のオープニングセレモニーを行い、新施設の魅力を広く発信します。

- 新施設の場所
燕市B&G海洋センターの現行プール隣
- プールの機能
25m×6コース、幼児用プール(6m×8m)
- 施設の改善点
遮熱・断熱性能の向上、トイレの洋式化、ロッカールームの拡充や多目的ルームの新設
- オープン時期
令和8年7月下旬頃(予定)

拡 サッカー場整備事業 【予算額】6億3,660万円

利用者が雨天時や夜間でも安全・安心に活動できるよう、吉田ふれあい広場(多目的広場)に夜間照明を備えた多目的人工芝サッカーコートを整備します。

- 施設の場所
吉田ふれあい広場内
- 施設の機能
多目的人工芝サッカーコート1面
ナイター照明4基
管理棟トイレの改修
駐車場拡張など



重点事業 ①-3 燕はひとつ

行政や民間の垣根を越え、さらにはあらゆる世代の皆さんにまちづくりを身近に感じていただき、市政への参画を促す取り組みを進めます。

市政との関わりの創出

新 市民とのふれあいトーク 【予算額】14万円 (17ページ掲載)

燕・吉田・分水の3地区で市長が市政についてお伝えする「市民とのふれあいトーク」を開催します。また、各種団体などに市長が出向く「出張! ふれあいトーク」を開催します。

新 こども会議(仮称) 【予算額】8万円

子どもたちの社会参画とまちづくりへの意見反映を促進するため、燕市の未来を担う子どもたちに幅広く意見を聞くこども会議を開催します。
○対象:市内の小・中学生(公募予定)

市民活動を支える取り組み

拡 自治会運営支援事業 【予算額】145万円

自治会活動の活性化と多様化する自治会課題の解消に向けた各種支援策のメニューに「単発型の自治会アドバイザー派遣」などを追加します。

拡 協働のまちづくり推進事業 【予算額】265万円

自治会やまちづくり協議会などが行う公益的な活動に対して交付する「イキイキまちづくり事業助成金」について申請区分をリニューアルするとともに予算額を拡充して市民活動の活発化を支援します。

重点事業 ④ 交付金等を活用した物価高対策

食料品価格などの物価高騰の影響が長期化する中、重点支援地方交付金などを活用し、市民生活や経済活動を下支えします。

生活者支援

子育て世帯支援

- 拡 小中学校・保育園・こども園の給食費保護者負担の軽減
【予算額】1億2,216万円
▶令和8年度は小学校給食費の「保護者負担ゼロ」を実施
▶中学校・保育園・こども園の給食材料費の価格上昇分を市が負担し、給食費負担額を据え置く補助を拡充して実施
- 物価高対応子育て応援手当支給事業【令和7年度先行実施】
▶児童1人あたり2万円を給付

低所得世帯支援

- 住民税非課税世帯等に対する臨時給付金支給事業【令和7年度先行実施】
▶住民税非課税世帯等に対し、2万円を給付

- 低所得のひとり親世帯等(住民税非課税世帯等以外)に対する臨時給付金支給事業【令和7年度先行実施】
▶児童1人あたり5千円を給付

市民生活や経済活動を下支え

- 臨 燕応援フェニックスクーポン発行事業(第8弾)
【令和7年度繰越予算額】3億7,360万円
▶市民1人あたり5千円分のクーポン券(割引券)を発行。5月下旬から順次発送し、使用期限は12月31日(木)まで
- 臨 水道料金臨時負担軽減事業
【令和7年度繰越予算額】1億5,505万円
▶令和8年6月検針分から11月検針分までの期間、水道基本料金を6カ月間全額減免

重点事業 ② 合併20周年記念事業



令和8年3月20日は、平成18年3月20日に1市2町が合併して誕生した新「燕市」の合併20周年の日です。これを新たな飛躍と発展に向けた契機と捉え、1年を通して特別イベントなどを実施します。

燕市の「今」を盛り上げる

- 拡 つばめ桜まつり・分水おいらん道中
【予算額】1,650万円(27ページ掲載)
- 拡 道の駅SORAIRO国上 秋の収穫祭
【予算額】200万円
- 拡 文化会館自主事業
【予算額】2,714万円
- 拡 飛燕夏まつり・吉田まつり・分水まつり・デジタル花火
【予算額】1,736万円
- 拡 つばめ食べて応援キャンペーン・飛燕舞・新大コシヒカリの生産・販売促進
【予算額】492万円
- 新 公民館活動の祭典
【予算額】3万円
- 拡 越後くがみ山 酒呑童子行列
【予算額】350万円
- 拡 敬老事業
【予算額】884万円

燕市の「未来」へつなぐ

- 臨 つばめっ子が描く未来の燕事業
【予算額】80万円
小・中学生を対象とした絵画コンクールを開催します。
- 拡 燕ジュニア検定
【予算額】43万円
合併20周年に関する記念問題を追加します。
- 拡 広報つばめ「子ども版」の発行
【予算額】119万円(18ページ掲載)
市内小学生が子ども記者として「合併20周年」を意識した視点を取り入れながら、広報紙を制作します。

主要事業

戦略1 定住人口戦略

- 新** 新産業創出事業
【予算額】 71万円
- 新** 工場等暑熱対策総合支援事業
【予算額】 3,600万円 (24ページ掲載)
- 新** DX計画策定支援補助金
【予算額】 200万円
- 新** スマートファクトリー加速化補助金
【予算額】 1,100万円 (24ページ掲載)
- 拡** 踏み出せ！農業！スタートアップ事業
【予算額】 704万円
- 新** つばめ稼ぐ農業支援事業
【予算額】 3,100万円
- 拡** 学校給食費保護者負担の軽減
【予算額】 9,519万円
- 拡** 部活動の地域展開事業
【予算額】 3,757万円
- 新** 燕市不登校対策
～COCOLO“T”(燕版COCOLOプラン)～
【予算額】 5,059万円
- 拡** 「つばめ長善プロジェクト」
【予算額】 4,726万円 (18ページ掲載)
- 新** こども会議(仮称)
【予算額】 8万円
- 新** 玄関ドアロック・防犯カメラ導入事業
【予算額】 2,280万円
- 新** 私立園ICT化推進補助事業
【予算額】 480万円
- 拡** こどもインフルエンザ予防接種費
助成事業【予算額】 1,840万円
- 新** 転ばぬ先の医療推進プロジェクト
促進事業
【予算額】 156万円
- 新** 県立吉田病院と連携した訪問型短期
集中介護予防サービス実施事業
【予算額】 101万円
- 拡** 敬老事業
【予算額】 884万円
- 新** 医療的ケア児等レスパイト
(一時預かり)事業
【予算額】 437万円
- 新** つながる工賃アップ事業
【予算額】 501万円

戦略2 活動人口戦略

- 拡** 胃がん内視鏡検診
【予算額】 2,561万円
- 拡** 医療用補正具購入費助成事業
【予算額】 189万円
- 拡** サッカー場整備事業
【予算額】 6億3,660万円
【事業期間】 令和6～8年度
- 臨** B&G海洋センター移転改築事業
【令和8年度予算額】 8億6,840万円
【事業期間】 令和5～8年度
- 新** 燕市全国大会出場選手等激励金
【予算額】 450万円
- 拡** 自治会運営支援事業
【予算額】 145万円
- 拡** 協働のまちづくり推進事業
【予算額】 265万円
- 継** つばめ若者会議事業
【予算額】 230万円
- 拡** つばめ子育て応援企業
サポート事業
【予算額】 1,443万円

戦略3 交流・応援(燕)人口戦略

- 拡** 燕ソウルフード
観光プロモーション事業
【予算額】 143万円
- 拡** 産業観光受入体制整備事業
【予算額】 255万円 (24ページ掲載)
- 継** 応援(燕)人口拡大創出事業
【予算額】 2,490万円

戦略4 人口戦略を支える都市環境の整備

- 新** 避難者支援システム運用事業
【予算額】 17万円
- 拡** 地域脱炭素移行・再エネ推進事業
【予算額】 7,637万円 (24ページ掲載)
- 拡** 中心市街地再生モデル事業
【予算額】 5,000万円
- 拡** 公共交通運行事業
【予算額】 9,156万円
- 継** 統合浄水場の安定稼働
(浄水場施設運転管理業務委託)
【予算額】 4億7,705万円
【委託期間】 令和7～26年度
- 継** し尿等受入に伴う下水終末処理場
施設整備事業
【予算額】 4,000万円
【事業期間】 令和5～13年度

戦略5 持続可能な行財政運営の推進

- 臨** 第3次燕市総合計画・第3次燕市行政
改革推進プランの検証及び中間見直し
【予算額】 70万円
- 臨** 燕市建物系公共施設保有量適正化計
画の見直し【ゼロ予算】
- 継** 下水道使用料の適正化【ゼロ予算】
(11ページ掲載)
- 新** マイナンバーカード交付管理シ
ステムの導入
【予算額】 297万円

今回、紹介した事業は一部分であり、この他にも多くの注目事業を予定しています。
詳細情報については、ホームページでご確認ください。

なお、「市民とのふれあいトーク」でも今年度の重点施策などを説明します。詳しくは17ページにて。

